

授業科目 社会福祉援助技術総論Ⅰ

【担当教員名】 村上信	対象学年	3	対象学科	社会（3年）・作業（2年）
	開講時期	前期	必修・選択	必修（社会）・選択（作業）
	単位数	2	時間数	30

<概要>

社会福祉の諸施策をサービス利用者にとって価値あるものにするために、福祉施策を具体化していく過程で不可欠な専門的社会福祉援助活動（ソーシャルワーク）で用いられる援助の方法・技術（社会福祉援助技術）に関する全体系を総合的に学ぶ。  
総論Ⅰは、専門的社会福祉援助活動を担う専門職（ソーシャルワーカー）と社会福祉援助技術の確立過程、その意義、ソーシャルワークの体系、専門分化と総合化の現状と課題について学習する。

<学習目標>

1. 社会福祉の体系のなかでソーシャルワークが果たす役割や機能、社会福祉サービスとソーシャルワークの相互の関連を学び、その位置づけを理解する。
2. ソーシャルワークの発展過程を学び、ソーシャルワーカーのアイデンティティーについて理解する。
3. ソーシャルワークの体系、基本原理・原則を理解する。
4. ソーシャルワーカーに求められる専門性と倫理、果たすべき機能について理解する。

回数	授業計画又は学習の主題	SBO
		番号 学習方法・学習課題又は備考・担当教員
1	位置づけ（1） ソーシャルワークの構成（政策・制度の体系と実践・技術の体系）を学ぶ	講義
2	位置づけ（2） ソーシャルワークの概念、内容、構造を学ぶ	
3	体系（1） ソーシャルワークの最も基礎的方法である直接援助技術の体系を学ぶ	
4	体系（2） 間接援助技術の体系を学ぶ	
5	体系（3） その他の関連する援助技術を学ぶ	
6	発展過程（1） 欧米と我が国におけるソーシャルワークの形成過程を学ぶ	
7	発展過程（2） ソーシャルワークの多様化と統合化など、発展過程と今後の課題を学ぶ	
8	基本原理・原則 ソーシャルワークを展開する際に重要とされる基本的原理・原則を学ぶ	
9	共通基盤 多様な現場で展開されるソーシャルワーク実践の共通基盤を理解する	
10	専門性 ソーシャルワーカーと資格、専門職と専門性の構造について学ぶ	
11	倫理 ソーシャルワーカーの倫理綱領と援助技術、専門職の倫理を理解する	
12	機能と役割（1） ソーシャルワーク実践で専門職が果たす機能と役割を理解する	
13	機能と役割（2） 事例を通してソーシャルワーカーが果たす機能と役割を理解する	
14	まとめ 全体を通してのまとめをする	

【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格・その他>
教科書	『社会福祉援助技術論Ⅰ』	福祉士養成講座編集委員会編集	中央法規	2003年版でも可
	『社会福祉援助技術論Ⅱ』	福祉士養成講座編集委員会編集	中央法規	2003年版でも可
参考書	社会福祉援助技術論というタイトルで出版されている書物、たとえばミネルヴァ書房や有斐閣、建帛社、全社協などの出版物			
その他の資料	必要に応じてプリントを配布する			

【評価方法】 定期試験	【履修上の留意点】
----------------	-----------

社会福祉学科 専門